

令和 7 年 9 月 9 日
第 3 回村議会定例会

諸 般 の 報 告

更 別 村 議 会 議 長

1 説明員

地方自治法第121条の規定により、令和 7 年第 3 回更別村議会定例会に出席を求めた者及び委任者は次のとおりである。

出席を求めた者	委 任 者
更別村長 西 山 猛	副 村 長 大 野 仁
	総 務 課 長 末 田 晃 啓
	総 務 課 参 事 小 寺 誠
	企画政策課長 本 内 秀 明
	企画政策課参事 今 野 雅 裕
	産 業 課 長 高 橋 祐 二
	住民生活課長 小野寺 達 弥 会 計 管 理 者
	建設水道課長 石 川 亮
	保健福祉課長 新 関 保
	子育て応援課長 酒 井 智 寛
	診療所事務長 岡 田 昌 展
更別村教育委員会教育長 宝 輪 祐 子	教 育 次 長 伊 東 秀 行
	学校給食センター所長 小 林 浩 二
更 別 村 農 業 委 員 会	事 務 局 長 川 上 祐 明
更別村代表監査委員 笠 原 幸 宏	

2 会議

7 月 3 日 と ち ち 広 域 消 防 事 務 組 合 議 会 臨 時 会 （ 帯 広 市 議 長 出 席 ）

3 研修会

6 月 27 日 広 尾 町 議 会 議 員 等 研 修 会 （ 広 尾 町 議 員 5 名 出 席 ）

7 月 1 日 議 会 デ ジ タ ル 化 先 進 地 視 察 研 修 （ 中 札 内 村 全 議 員 出 席 ）

7 月 8 ～ 9 日 北 海 道 町 村 議 会 議 長 会 議 員 研 修 会 （ 札 幌 市 全 議 員 出 席 ）

- 8月4日 南十勝町村議会議員研修会（広尾町 議員7名出席）
8月18～19日 北海道町村議会議長会議会広報研修会
（札幌市 議員3名出席）
8月29日 十勝町村議会議長会議長研修会（新得町 議長出席）

4 所管事務調査の報告

会議規則第77条の規定により別紙のとおり報告された。

5 例月出納検査

- 7月10日 令和7年6月分の例月出納検査報告書が提出された。
8月8日 令和7年7月分の例月出納検査報告書が提出された。
9月8日 令和7年8月分の例月出納検査報告書が提出された。

6 委員会

- 7月7日 全員協議会（議員控室）
勢雄小学校跡地の利活用について
7月25日 議会運営委員会（議員控室）
議会広報第193号の編集について
7月25日 全員協議会（議員控室）
議会のデジタル化に向けたタブレット等の導入について
8月28日 産業文教常任委員会（議員控室、村内一円）
農作物の作況について
9月2日 議会運営委員会（議員控室）
第3回村議会定例会の運営について
9月2日 全員協議会（議員控室）
議会のデジタル化に向けたタブレット等の導入について
令和7年度議会報告会と住民懇談会の開催要領（案）について

7 その他

- 6月24日 北海道更別農業高等学校環境整備促進期成会総会
（更別村 議長出席）
6月25日 第48回更別村高齢者運動会（更別村 議長出席）
6月26日 更別村議友会定期総会（更別村 議長出席）
7月3日 東松島市長・市議会議員表敬訪問（更別村 議員7名対応）
7月6日 北海道消防操法訓練大会出場に伴う激励会（更別村 議長出席）
7月12日 どんぐり保育園・生活と運動あそび会（更別村 議長出席）
7月15日 更別村戦没者追悼式（更別村 議長出席）
7月18～19日 北海道消防操法訓練大会（江別市 議長出席）
7月21日 第71回十勝管内PTA研究大会更別大会
（更別村 議長、小谷議員出席）

- 7月24日 宮城県気仙沼市議会産業建設常任委員会行政視察
(更別村 議長対応)
- 7月25日 芽室町議会議員研修会(芽室町 議長出席)
- 7月29日 山形県米沢市議会会派行政視察(更別村 議長対応)
- 8月5日 鷹栖町議会経済福祉常任委員会行政視察(更別村 議長対応)
- 8月6日 宮城県石巻市議会会派行政視察(更別村 議長対応)
- 9月1日 更別村功労者表彰式(更別村 議長出席)



令和7年9月5日

更別村議会議長 織 田 忠 司 様

産業文教常任委員会

委員長 斎 藤 憲

産業文教常任委員会所管事務調査報告書

本委員会は、所管事項について下記により調査をしたので、会議規則第77条の規定により、調査の概要を報告いたします。

記

- 1 調査日時 令和7年8月28日（木）午前9時00分
- 2 調査場所 更別村一円
- 3 調査事項 農作物の作況について
- 4 経 過

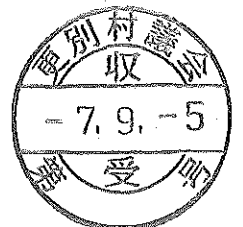
委員長を含む委員5名により、調査事項について所管課長の出席を求め、農業改良普及センターの職員3名の協力を得て、8月15日現在の調査結果の説明を受け、その後、村内の圃場の現地調査を行った。

5 調査の結果

今年の融雪は平年並みで、気温は総じて高めに推移したが、5月下旬から6月初めに気温が低い時期があった。降水量は4月に多かったが6月は極端に少なく、7月中旬のまとまった降雨まで干害が心配される状況があった。したがって調査時点までの今年の気候の特徴は、総じて高温、ただし5月末に低温、4月の多雨、6月の少雨、7月半ばの降雨、とまとめられる。なお6月の少雨の影響が大きかったのは本村と中札内村で、十勝全体ではそれほどでなかったとのことである。

個別の作物について報告する。なお、金時、手亡、馬鈴薯、小豆、大豆、甜菜の6作物について現地調査で確認した。

秋まき小麦は6月の少雨のため仕上がりが早く、平年より10日早い7月21日に収穫作業が終了した。収量および品質については懸念なしとしませんが、調査時点では資料が得られていない。



馬鈴薯（メークイン）は4月の降雨のために植え付けが1週間ほど遅れた。その後の高温と少雨のため生育期間が短縮されたが、7月中旬の降雨で再び成長期間が伸びて、茎葉黄変期は平年より3日早い8月5日となった。茎長は平年より短く、茎数はやや多い。なお7月の降雨は成長期間を伸ばした一方で、二次成長を引き起こしたことが懸念されている。現地調査でもそのようなイモが散見された。馬鈴薯の作況は翌年以降の種芋の供給にも影響するので、今後の推移を注視したい。

豆類は播種が順調であったこともあり、総じて平年より早い生育が見られた。開花期は、大豆、小豆、金時、手亡のいずれも平年より6日から9日早く、7月半ばまでに開花期を迎えた。懸念材料としては、金時及び手亡の着莢数が少ないことがある。これには開花期の高温が影響した可能性がある。現地調査でも株によって莢つきにムラがあるものが散見された。なお、金時は雨による色流れの少ない新品種の「秋晴れ」にほぼ交代している。加工業者等に受け入れられることを期待したい。

甜菜は、今年から直播のみの調査となっている。出芽期は平年から3日遅れの5月11日、その後も6月の少雨で肥大が遅れ、平年より3日遅れの生育状況が続いている。一昨年に被害をもたらした褐斑病は、周到な防除によって抑えられている。品種については新品種の8 K 839 Kが従来の2 K 314と混播の形で栽培されている。この2品種は日本甜菜精糖が開発した品種であるが、近年は製糖会社の垣根を越えて、北海道製糖の品種であるライエンとの混播もあるとのことであった。

牧草（チモシー）は一番草の出穂期は平年並みの6月12日（1日遅れ）であったが、6月の少雨の影響で夏枯れを起こし、二番草の生育は12日遅れとなっている。二番草収穫後の追播が望まれるが、収穫遅れのために追播可能な時期をのがす可能性もある。冬の気候にもよるが、来年の一番草の収量が懸念される。サイレージ用とうもろこしは高温のため生育が進み、平年より10日早い8月12日に乳熟期となった。

近年の気候変動が多くの作物に影響をもたらしつつあること、農業者がこれまで以上の努力を傾けていることを実感した。

以上、報告とする。